

# SVMCtl のリリースノート

2023/03/10

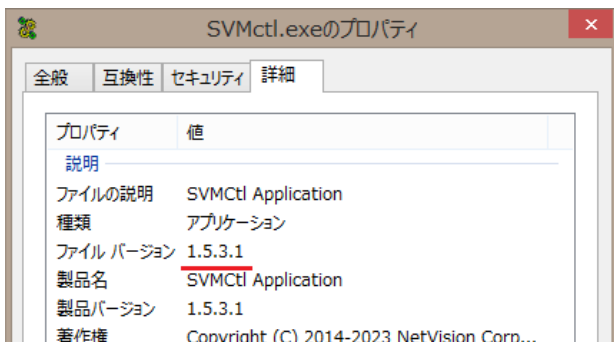
NetVision

## 1 概要

この資料では、SVM ボード用ユーティリティソフト「SVMCtl」のバージョンアップ内容について記述します。2021 年 6 月以前のバージョンアップ履歴については、個別にお問い合わせください。

### 1.1 バージョン番号

NVCap のバージョン番号は、SVMCtl.exe のプロパティを参照してください。



## 2 SVMCtl のバージョンアップ履歴

v1.4.8.0	22/6/7	
内容： 設定ファイルに I2C の NACK を無視して次の行以降の継続する “IGNORE” コマンドを追加しました。 2 系統の出力を持つボードを認識したとき、2 系統の Clipping 領域を設定可能にしました。		

v1.4.9.1	22/8/5	
内容： SPI-ROM に書き込まれた Board ID を Board Select Dialog とウィンドウタイトルに表示しました。		

v1.4.9.2	22/8/9	
内容 : SV0-03 HDMI モードを開いたとき、Warning が表示される問題を修正しました。		

v1.4.9.3	22/9/22	
内容 : CKIN 出力の周波数設定を指定しないとき、CKIN 出力が止まる問題を修正しました。		

v1.4.9.4	22/9/30	
内容 : 起動時の Board Select ダイアログで SVI-09 と類似基板の Board ID が正しく反映されない問題を修正しました。		

v1.4.9.5	22/10/14	
内容 : - SVP-01-U の DP モードで起動時にユーザ解像度のタイミング設定データを書き込み可能にしました。 - DP 対応ボードが認識されたときの設定項目名を HDMI から DP に変更しました。		

v1.4.9.6	22/10/25	
内容 : - SVP-01-G USB モードの定義を追加しました。		

v1.4.9.7	22/10/28	
内容 : - SVI-09 ボードで I2C Init. Data が正しく読み込めない問題を修正しました。		

v1.5.0.0	22/12/16	
内容 : - Range Setting が正しく反映されない問題を修正しました。 - SVP-01-G の各モードの定義を追加しました。		

v1.5.1.0	23/1/24	
内容 : - VCID Filter 設定を追加しました。 - SVM-06 HDMI モードの RAW -> Grayscale 変換機能を手動で設定するための設定を追加しました。 - 不正な SPI-ROM 領域が書き換えられることを防ぐために、SPI-ROM の書き換え時に、毎回ボードの種類を確認する処理を追加しました。		

v1.5.2.0	23/1/25	
<p>内容：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- コマンドラインで起動するオプションを追加しました。</li> </ul> <p>「-file [filename]」で起動すると、最初に認識された基板に対して、I2C 設定ファイルを送信します。</p> <p>ダイアログは表示されず、全てのエラーは無視されます。正常終了した場合、0 を返します。</p>		

v1.5.3.0	23/2/13	
<p>内容：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- Sysclk Match Error が検出されたあと「書き込みに成功しました」というメッセージが表示される動作を、エラー発生メッセージに変更しました。</li> <li>- DisplayPort 対応ボードの SVMInfo 画面の対応を追加しました。</li> </ul>		

v1.5.3.1	23/2/21	
<p>内容：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- EDID の末尾 12 バイトが書き込めない問題を修正しました。</li> </ul> <p>(CEA Extension 使用時に NG となります。Extension 未使用時は影響ありません。)</p>		

v1.5.3.2	23/3/10	
<p>内容：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- SVM-03, SV0-03 で I2C Init. Data 書き込み時に、書き込み成功したにもかかわらず失敗ダイアログが表示される問題を修正しました。(v1.5.1.0 - 発生)</li> </ul>		